

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	南部児童センター		所管課 TEL	こども育成課 34-3261					
所在地	松本市双葉4-16		設置年月	昭和58年9月1日					
施設設置目的	地域の児童健全育成の拠点施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としています。								
施設概要・設備	松本市総合社会福祉センター（鉄筋コンクリート造5階建て、延床面積4,466.948㎡）内、2階303㎡部分 集会室、図書室、遊戯室、静養室								
指定管理者名（選定方式）	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会（公募）								
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日								
指定管理者の 主な業務	・児童の安全管理、健康管理、情緒の安定、児童への適切な遊びの指導 ・施設の維持管理 ・放課後児童健全育成事業 ・つどいの広場事業								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）				
	年間延べ利用人数	5,000	10,140	202.8%	106.3%				
	放課後児童健全育成事業 登録児童数（月平均）	40	39.8	99.5%	118.1%				
	つどいのひろば事業延利用者数	5,500	3,036	55.2%	92.4%				
	（特記事項）								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和6年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	17,008,000	指定管理料	16,761,898	利用料	973,900	利用料	881,750
		【内訳】		【内訳】		国・県補助金	7,096,000	国・県補助金	4,736,000
		児童館運営	14,330,000	児童館運営	14,083,815	【内訳】		【内訳】	
		つどいの広場	2,678,000	つどいの広場	2,678,083	放課後児童健全育成事業	5,311,000	放課後児童健全育成事業	3,022,000
					つどいの広場	1,785,000	つどいの広場	1,714,000	
	計	17,008,000	計	16,761,898	計	8,069,900	計	5,617,750	
	支出 （歳出）	人件費	17,739,000	人件費	16,215,581	指定管理料	17,433,348	指定管理料	16,063,286
		【内訳】		【内訳】		【内訳】		【内訳】	
		児童館運営	13,512,000	児童館運営	13,296,574	児童館管理	14,755,265	児童館管理	13,491,509
		つどいの広場	4,227,000	つどいの広場	2,919,007	つどいの広場	2,678,083	つどいの広場	2,571,777
		事業費	411,000	事業費	405,240				
		【内訳】		【内訳】					
		児童館運営	338,000	児童館運営	332,331				
つどいの広場		73,000	つどいの広場	72,909					
事務費		761,000	事務費	506,235					
【内訳】			【内訳】						
児童館運営	545,000	児童館運営	348,775						
つどいの広場	216,000	つどいの広場	157,460						
助成金等	90,000	助成金等	90,000						
【内訳】		【内訳】							
児童館運営	90,000	児童館運営	90,000						
つどいの広場	0	つどいの広場	0						
計	19,001,000	計	17,217,056	計	17,433,348	計	16,063,286		
損益	-1,993,000		-455,158		差引	-9,363,448	差引	-10,445,536	
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	（1. 0）	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	（0. 7）	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	（0. 5）	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	（0. 0）	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
65.7

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	アンケートでは職員の対応について意見が複数あるが、都度対応しており公平性は確保されている。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件調査項目を確認したところ、業務従事者の適正な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題はない。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	利用者の事故を防止するための対策の工夫が施設に見られる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	端末にウイルス対策を講じている。また、個人情報の台帳は、書棚を施錠し管理している。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	経理担当が本施設専用の会計帳簿により、経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	決算を確認した結果、経営状況に問題となる点は見当たらず健全な経営を行っている。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	市内周辺の事業所において、サポート・バックアップを常に行える体制が確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表及び日報で確認したところ、人員配置、シフト体制、勤務時間ともに概ね適正である。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	A	館長、支援員の指揮系統、責任権限が明確になっている。全常勤職員が放課後児童支援員認定資格を取得している。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	業務の効率化に努め、年次休暇の計画的な取得が図られている。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	研修会への参加を定期的に行っている。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	専用の会計帳簿によりおやつ代の収受、管理経費の収支を適切管理しており、問題は見られない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	警備、消防設備保守点検業務等の管理業務の一部について、第三者との当該契約に係る契約書等を確認した結果、適切に実施されている。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題はない。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対応フローが館内に明記されており、緊急時対応が業務従事者に徹底されていることから、問題はない。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されていることから、問題はない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、運営委員会で協議のうえ、適切に計画が履行されている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	仕様書に基づいた営業時間で運営がされており、また、事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題はない。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	A	立地等を活かして地区の各種団体や施設と連携し多様な事業を実施している。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	児童館だより等により広く情報を発信するなど、施設の利用促進のための取り組みをしている。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	児童の音楽活動に力を入れており、地域からの要請で児童たちが披露しに行くなど、児童や地域から好評を得ている。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	「こどもの姿」ノートに、児童たちの日々のとても詳細な様子を記録し、支援に役立てている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に対応しているか	3	B	利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し、業務改善や迅速な苦情対応に努めている。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリングや自己評価が適切に実施されている。
	環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	電気、ガス・灯油、ガソリン、紙等の資源・エネルギー使用料削減目標に向けて、取り組みや工夫を行っている。
	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	経費節減や業務効率化に取り組んでいる。
経済性	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業計画書どおりの事業を実施している。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和6年9月～11月
	調査対象	利用児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙への回答(24人回答)
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和6年度の 自己評価	・年間を通じて音楽活動を行い、ふれあいまつり、クリスマスコンサート、春の演奏会で発表することができた。練習を重ねて発表することで達成感を味わえたと思う。 ・社協地域福祉課、希望の家、プラチナセンター、松南地区等、各機関との共催行事を実施することができ、地域との交流の機会を多くもつことができた。 ・毎日の集会で、生活習慣の見直しやお互いを思いやる気持ちをもつように話をすることをこころがけた。徐々に浸透してきたと思う。
要望・苦情への 対応状況	(アンケートでいただいた意見に対して) ・職員の言動で子どもが不安になったことがある⇒職員で話し合い自身を振り返る機会をいただけた。職員同士でも注意し合えるようにしていく。 ・高学年児童の乱暴な態度を怖がっている。いけないことは見過ごさず注意してほしい。⇒その時、その場で即対応をする。職員間でも共有して統一した指導をする。児童の心のケアもこころがける。
今後の目標	・総合社会福祉センター内に位置する児童センターとしての特色を生かし、社協内はもちろん、関係各機関との交流の機会を多く取り入れて協同の喜び、思いやりのこころが持てるように支援する。 ・児童センター内の行事や生活面で児童の意見、発想を積極的に取り入れ主体性を育成していく。 ・小学校や保護者と連携して、児童理解を深め個々の支援をしていく。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価(4段階評価)の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】 提案書に基づく事業計画に基づき、概ね適切に事業が実施されている。	
【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】	
【総合的な評価】 ・児童をリーダーに据えて児童たちと通学路を歩き、ワークショップ的に通学路の「ヒヤリハット地図」を作成した。これにより児童・職員ともに通学路の危険箇所を把握できたほか、児童の下校時の安全意識の醸成につながった。 ・児童の音楽活動(歌)に力を入れており、これを活かして児童はもちろん保護者や地域にも好評を得るイベントや、盛んな地域交流を行っている。 ・アンケート結果では、職員の対応に関する意見が見受けられた。今後は一層利用者目線に立ち、利用者の満足度向上に資する管理運営に努められたい。	

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
72.7

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和6年9月～11月	
	調査対象	利用児童の保護者	
	調査方法	アンケート用紙への回答（24人回答）	
調査結果	児童が児童センターについて保護者に話す頻度	南部児童センター	社協全体
	よく話す	46%	43%
	時々話す	50%	49%
	ほとんど話さない	4%	5%
	児童が話す内容	南部児童センター	社協全体
	楽しかった友達との出来事	83%	88%
	悲しかった友達との出来事	58%	31%
	嬉しかった職員との出来事	54%	39%
	悲しかった職員との出来事	13%	5%
	おやつについて	21%	23%
	その他	8%	11%
	児童が楽しみにしている行事	南部児童センター	社協全体
	工作教室	63%	55%
	お話の会	8%	5%
	親子バス遠足	38%	21%
	こども企画	25%	35%
	センター祭り	54%	50%
	季節の行事	67%	61%
利用者からの意見 要望・苦情等	・日々、子ども達の安心安全を守って頂きありがとうございます。 ・運動遊びは全員参加でなく、子どもの希望により参加させていただけるとありがたい。 ・センターの行事が年間で、いつやるか事前に分かったと予定が立てやすいです。いつも楽しい企画をありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。おかげ様で楽しく通えています。 ・日々、良くみていただいて感謝しています。ありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。対応も良く、安心して子どもを預けられます。 ・子どもの様子についていつもと違ったり気付いた点があれば都度教えていただきたい。 ・親子バスとても楽しかったようです。ぜひ来年も企画してほしいです。難しいと思いますが1泊2日でテーマパークとかも行きたいです。 ・いつも子どもを安心してお願いできているのは、センター長はじめ諸先生方のおかげです。ありがとうございます。子どももセンターでの先生方や友達との時間を楽しみにしています。 ・いつも迅速丁寧に対応していただきありがとうございます。 ・学校との連携の希薄さを感じる出来事が何度かあり、気持ち的に心配や不信につながってしまう。 ・職員の言動に、子どもも不安になることがある。 ・「〇〇が楽しい」「今度～やるの」等、いつも笑顔で話してくれます。お迎えが遅くなくても笑顔でセンターで過ごせると大変ありがたいです。先生方、いつもありがとうございます。 ・暴言や暴力をふるう上級生がいるようで、その子がいるから行きたくないと言う事が多々あります。センターの先生に言っても何も変わらないと言い、諦めてしまっています。叱る所は厳しく叱っていただき、見過ごさないようにしていただきたいです。言っても聞かないのであれば学校に話す等してほしいです。 ・特にありません。先生方に良くして頂いて感謝しております。 ・いつも和やかに子どもに接して頂きありがとうございます。工作や運動遊びなど色々な事を経験できるのでありがたいです。 ・でんしょバトの欠席等の連絡の期限を8：00ではなく、もう少し伸ばしてもらえたら助かります。 ・長期休みの毎日のお弁当が負担に思う時もあるので、他施設で取り組まれていた宅配弁当など数回でも良いので、あれば助かると感じます。 ・現金の支払い以外で対応していただけるとありがたいです。毎日のセンター出欠もデジタルの対応を進めてください。 ・ボードゲームや絵本等もっと増えたら良いなと思っています。		